

未来を照らす 日本国憲法

前川喜平 講演会



「あったことをなかったことにはできない」—。安倍政権の国政と行政の私物化を告発した文科省前事務次官はいま、自主夜間中学で勉強を教えています。1955年、奈良県生まれ。東京大学法学部卒業。79年文部省（当時）入省。大臣官房総括審議官、官房長、初等中等教育局長を経て2016年文科省事務次官に就任。17年退官。同年5月、加計学園による獣医学部新設は「総理のご意向」だとする文書の存在を証言。

共著「これからの日本、これからの教育」（ちくま新書）

雑誌「世界」1月号に講演録「教育が『憲法の理想』を実現する」

これからの日本 これからの教育

— 個人の尊厳と平和・学び

個人の尊厳を考えた時、絶対に戦争をしてはいけません。戦争がどれだけ個人の尊厳を踏みにじるか。9条を持つ日本が他国の主権を侵し続けるアメリカと一緒に戦争をするなど絶対に認められません。

私は求め続けます。個人の尊厳へ導く教育を！（全国革新懇ニュース1月号より）

3月13日（火）

18:00~20:30

須坂駅前 シルキーホール3F（駐車場 駅前P）

資料代 ¥500（高校生以下無料）

主催 安倍9条改憲NO！須高市民アクション TEL 245-3742（長電労組）